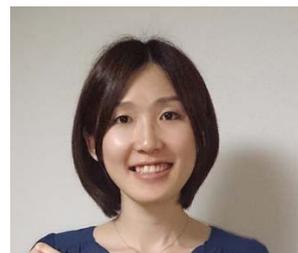


次年度ロータリー財団奨学生のご紹介

茅ヶ崎中央ロータリークラブのご推薦をうけて、グローバル補助金の2016-2017年の奨学候補生にご選出いただきました、古林安希子です。現在ニューヨーク、マンハッタンにあるコロンビア大学に在籍しており、既に渡米しているため、直接ご挨拶させていただくことができず大変残念です。この度グローバル奨学金で、修士課程の2年目をサポートしていただけることになりました。実は私は2780地区の出身ではないのですが、日本で国際保健学という国境を越えた健康問題について学んでいた時に、国立国際医療センター 蜂矢正彦先生の研究のお手伝いをさせていただいたご縁で、茅ヶ崎中央RCのご推薦をいただけることになりました。地区外の出身、既に留学中という変則的な身分でありながら、推薦・応援していただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



自己紹介ということで、今在籍している大学とどういったことを勉強しているのか、ニューヨークでの生活をご紹介しますと思います。

私は今コロンビア大学・国際公共政策大学院の国際関係学修士課程に所属し、人権・人道政策を専攻しています。コロンビア大学のメインキャンパスはマンハッタンの北西部に位置しており、オフィス街や観光地の多い繁華街からは地下鉄で20分ほどの距離で、学生の多く住む落ち着いた地区です。私の所属する大学院はアメリカでも同分野では規模が最も大きく、一学年で500人程度学生がいるのですが、その中で興味によってたくさんの専門分野に細分化されています。私は人権・人道問題の中でも、特に国際紛争解決に焦点を当てて学んでいます。紛争終結地域で活動するために必要な政治、経済、国際法などの学際的な知識と、交渉術や関係構築などの実用的なスキルを身に付けることを目標にしています。



大学のシンボリックな建物、Low Memorial Library



国際紛争解決専攻のキャンプにて

留学一年目の今年は8月末に渡航し、すぐに最初の学期がスタートしました。2年間のプログラムなので、最初の学期は必修の科目が多く、国際関係論概論、マクロ経済学、国際紛争解決、ライティングなど、今後国家の政治・経済・社会状況を分析するために必要となる知識・概念体系を中心に学びました。日本でも大学院に所属していたのですが、各自で進める研究に重点が置かれていた日本の大学院とは違い、今いるプログラムは実務家の養成を目的としているので、授業が多く、またディスカッション・プレゼンテーション・グループワークなど、アウトプットの間もたくさんありました。日本で学んでいた分野とは違う分野で留学しているため、英語で新しい知識を学びつつアウトプットもするのは思った以上に大変でした。ここ数週間は期

末試験のシーズンで、レポートを書いたり試験勉強をしたり、家と教室・図書館を行き来する日々でした。

コロンビア大学の魅力の一つは、なんといってもニューヨークという立地です。国際機関の本部が多くあり、現役職員の方による授業や、国際会議に合わせて渡米した各国の国家主席の講演に参加する機会がたくさんあります。学内外で毎日のように面白い講演やイベントがあり、学業とのバランスを考えて、参加するイベントを絞るのが大変なくらいです。その他にも、有名な美術館や博物館、ミュージカル、コンサートなども学生割引で参加することができます。

渡米後すぐに授業が始まってしまい、あまり街を散策する時間がなかったため、冬休みの間はニューヨークに滞在し、2年間住む街や周りの都市をもっと知る時間に充てる予定です。今後のご報告では、これまでの経験や、留学しようと思ったきっかけのほかに、ニューヨーク生活についてもご紹介していきたいと思います。

今年、長年の夢だった留学の夢を実現することができ、また、茅ヶ崎中央 RC とのご縁をいただき、私にとって充実した一年でした。皆さまどうぞ素晴らしいお年をお迎えください。来年、一時帰国の際に皆さまにご挨拶させていただけることを楽しみにしております。



ライトアップされたキャンパス

2016-17 グローバル補助金 奨学生 候補者
古林安希子



留学生の友人たちと